

介護保険に関する統計資料等の比較

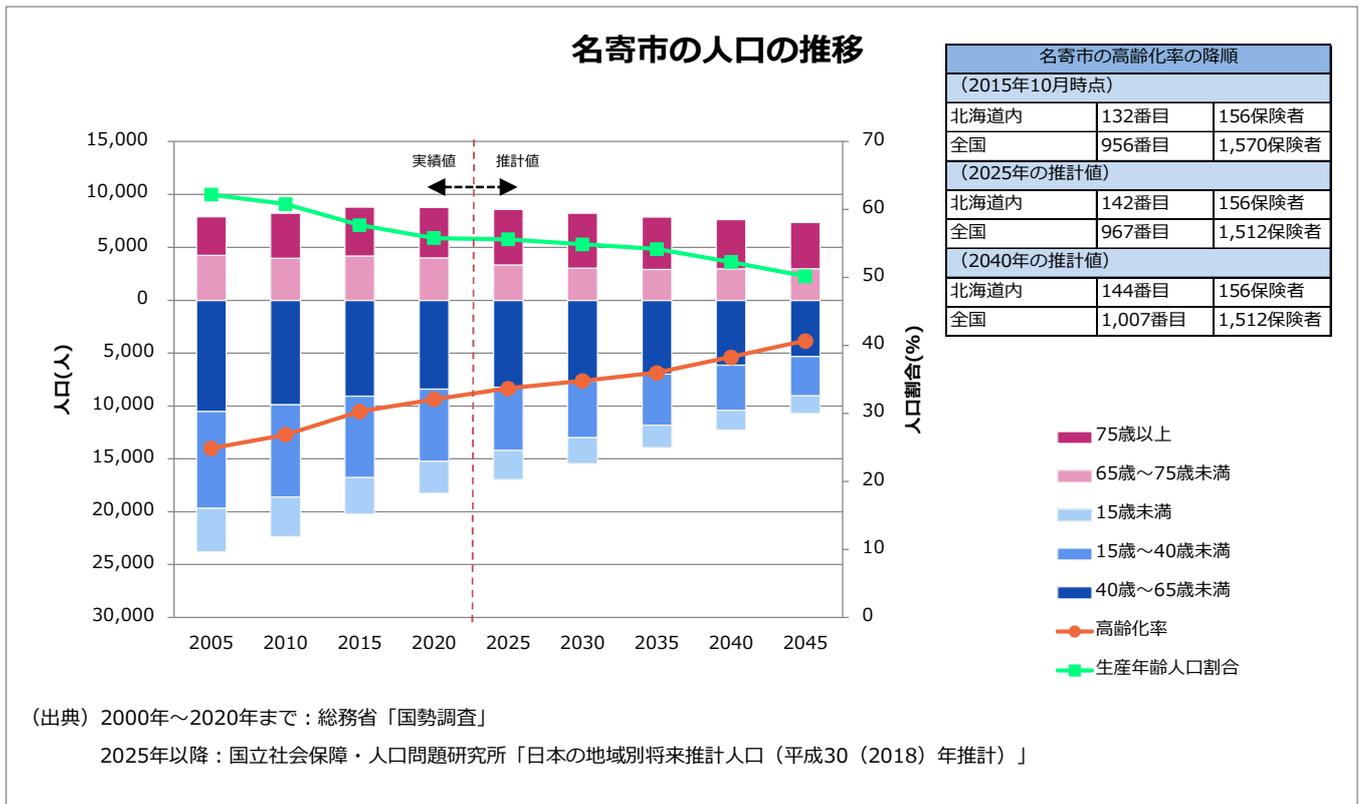
厚生労働省では、「地域包括ケア見える化システム」という情報システムを運用しており、自治体ごとの介護保険に関する統計資料をデータベース化しています。これを用いて、本市と全道、全国の比較を行いました。

1 高齢化率

下のグラフの右側の「名寄市の高齢化率の降順」の表に、2015年10月時点で、名寄市の高齢化率は、道内156保険者中132位、全国1,570保険者中956位とあります。

名寄市の高齢化率、全道の高齢化率はともに、32～33%前後ですが、順位としては高齢化率は低い状況です。全道は、札幌市が28%前後と低いため、全体が引っ張られますが、多くの町村では40%台など、高位となっています。

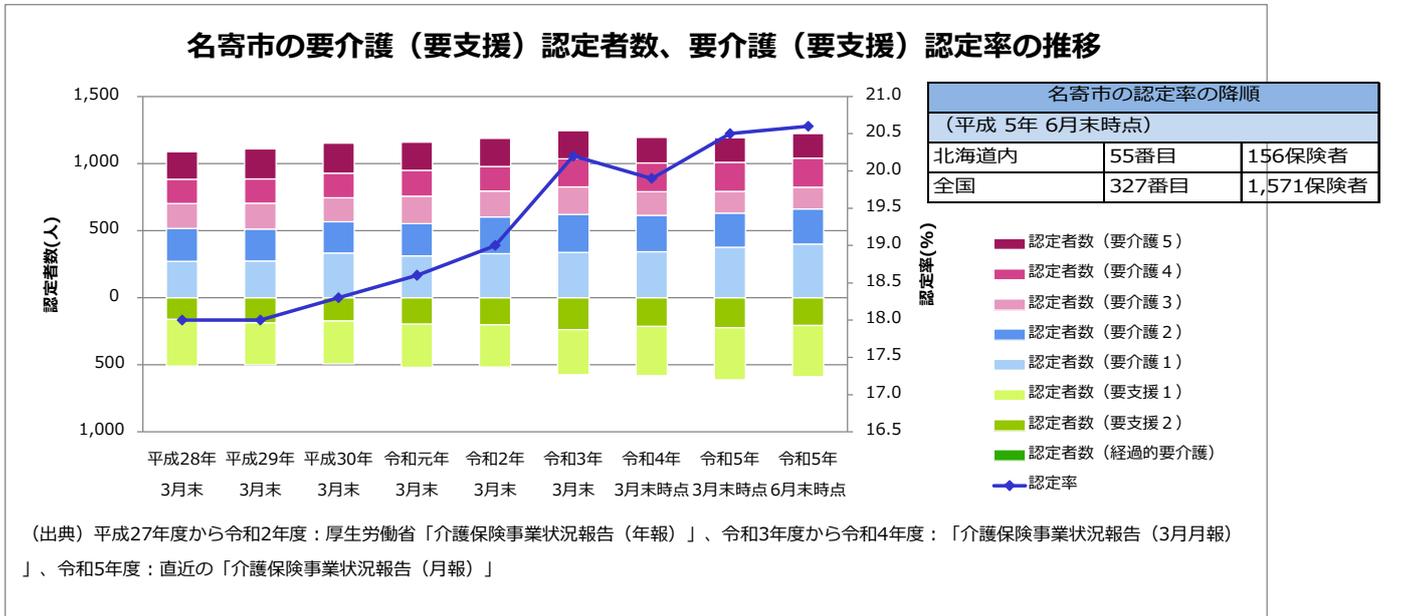
なお、「保険者」とは、市町村のことですが、一部、複数の自治体が広域連合などを組織して「1保険者」となっているところがありますので、「保険者」と記載しています。



2 要介護認定率

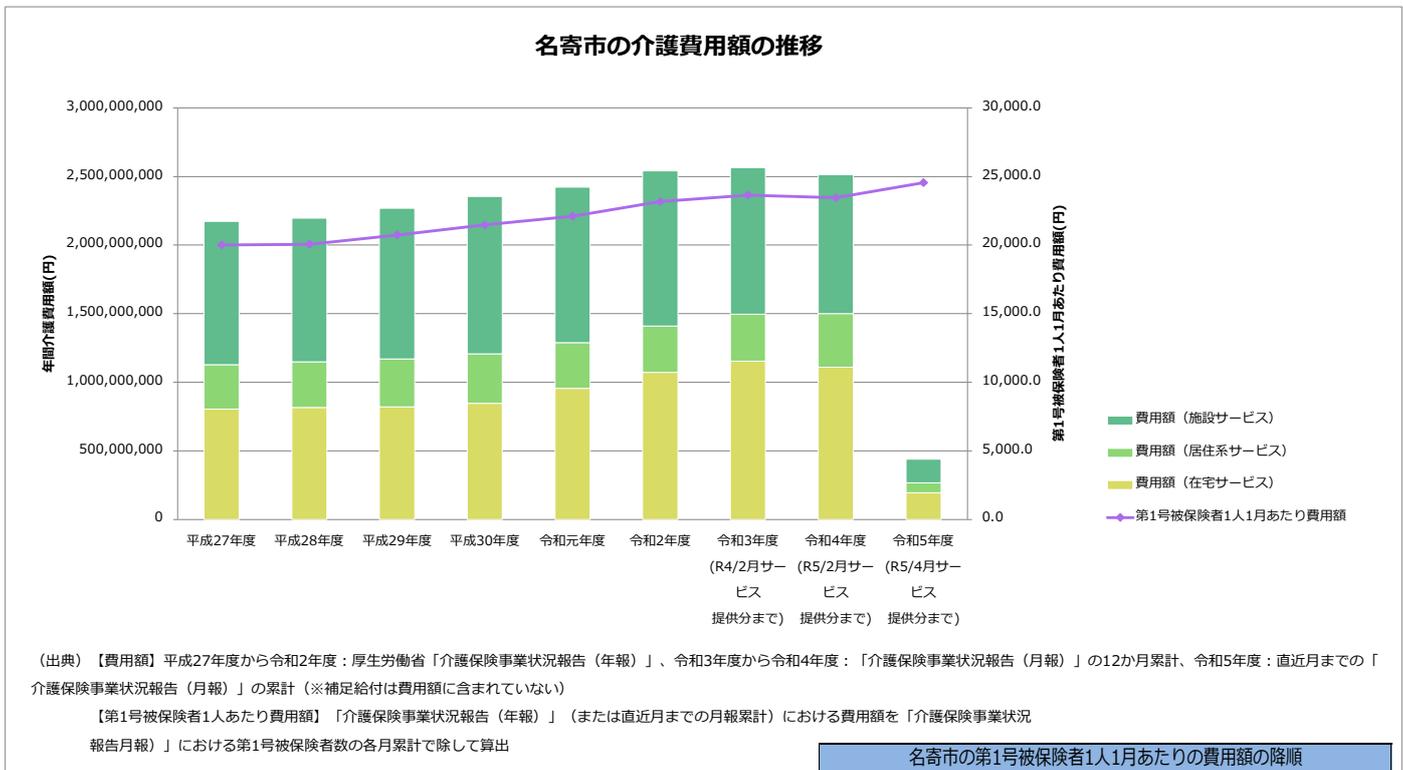
要介護認定者数を高齢者人口で割った数字である「要介護認定率」は、道内 156 保険者中 55 位、全国 1,570 保険者中 327 位と高位です。

介護予防の取り組みが進んでいる自治体が低位とされており、本市においても、介護予防の取り組みにより、「要介護認定率」を下げていくことが望めます。



3 被保険者1人あたりの介護給付費用額

「被保険者1人あたりの介護給付費用額」は、道内 156 保険者中 74 位、全国 1,570 保険者中 952 位となっています。平均並みと言えます。



アンケート調査結果の3年前との比較

アンケート調査結果を、3年前の結果と比較してみます。

令和5年8月調査の回収数

種類	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	600	377	62.8%
②在宅介護実態調査	600	346	57.6%
③保健医療福祉についてのアンケート調査	400	183	47.8%

令和2年9月調査の回収数

種類	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	600	417	69.5%
②在宅介護実態調査	600	408	68.0%
③保健医療福祉についてのアンケート調査	600	290	48.3%

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 社会活動への参加率

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で社会活動への参加率を比較すると、令和2年9月は、ちょうどコロナ禍の影響が出てきた時期であり、それぞれの活動の参加率が軒並み、令和5年より低くなっています。

「老人クラブ」は、令和2年から、割合が低下しています。

		①ボランティアのグループ	②スポーツ関係のグループやクラブ	③趣味関係のグループ	④学習・教養サークル	⑤介護予防のための通いの場	⑥老人クラブ	⑦町内会・自治会	⑧収入のある仕事
令和5年	参加している	27%	25%	29%	10%	5%	11%	35%	27%
	参加していない・無回答	73%	75%	71%	90%	95%	89%	65%	73%
令和2年	参加している	13%	23%	25%	6%	2%	14%	27%	23%
	参加していない・無回答	87%	77%	75%	94%	98%	86%	73%	77%

(2) 心身の状況

心身の状況として、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったか」と、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか」の2項目を比較しました。

前者は「うつの傾向」をみる項目、後者は「身体機能」をみる項目です。

その結果、「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあった」割合が1ポイント上昇し、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」割合が4ポイント低下していますが、総じて、大きな傾向の変化はみられません。

	令和5年	令和2年
気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあった	38%	37%
なかった	62%	63%

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

	令和5年	令和2年
階段を手すりや壁をつたわずに昇っている	58%	62%
できない・できるけどしていない	42%	38%

2 在宅介護実態調査

(1) 今後利用したい生活支援サービスの内容

「在宅介護実態調査」について、「今後利用したい生活支援サービスの内容」を令和5年と令和2年で比較したところ、「移送サービス」で5ポイントの上昇がみられますが、総じて、大きな傾向の変化はみられません。

	令和5年	令和2年
1. 配食	12%	11%
2. 調理の手伝い	6%	9%
3. 掃除・洗濯の手伝い	12%	14%
4. 買い物の代行	12%	11%
5. ゴミ出し	10%	9%
6. 外出同行（通院、買い物など）	18%	19%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	21%	16%
8. 見守り、声かけ	14%	13%
9. サロンなどの定期的な通いの場	4%	5%
10. その他	2%	6%
11. 特にない	26%	30%

(2) 介護者が負担や不安に感じる介護の内容

「介護者が負担や不安に感じる介護の内容」を令和5年と令和2年で比較したところ、「夜間の排泄」で5ポイントの上昇が、「認知症状への対応」で6ポイントの低下がみられますが総じて、大きな傾向の変化はみられません。

	令和5年	令和2年
1. 日中の排泄	13%	13%
2. 夜間の排泄	19%	14%
3. 食事の介助（食べる時）	3%	4%
4. 入浴・洗身	25%	24%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	4%	3%
6. 衣服の着脱	5%	2%
7. 屋内の移乗・移動	5%	8%
8. 外出の付き添い、送迎等	20%	18%
9. 服薬	9%	11%
10. 認知症状への対応	14%	20%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	2%	3%
12. 食事の準備（調理等）	16%	14%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	15%	11%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	8%	6%
15. その他	5%	4%

3 保健医療福祉についてのアンケート調査

(1) 名寄市の高齢者福祉政策についての意向

「保健医療福祉についてのアンケート調査」で「名寄市の高齢者福祉政策についての意向」を比較すると、「高齢者の経験や能力を発揮できる場をつくる」で5ポイントの上昇が、「高齢者が地域で孤立しないよう、地域のつながりを強化する」で7ポイントの低下が、「生涯学習など、興味のあることを自由に学べる場を増やす」で11ポイントの低下がみられます。「高齢者が元気でいられるよう、健康づくりや介護予防を強化させる」は依然高位にあり、健康づくり・介護予防の施策が重要であると市民が認識していることがわかります。

	令和5年	令和2年
1. 高齢者が元気でいられるよう、健康づくりや介護予防を強化させる	49%	50%
2. 高齢者が地域で孤立しないよう、地域のつながりを強化する	44%	51%
3. 高齢者の経験や能力を発揮できる場をつくる	38%	33%
4. 生涯学習など、興味のあることを自由に学べる場を増やす	11%	22%
5. 高齢者が安心して出かけられる交通網体系の整備をする	44%	41%
6. バリアフリーに配慮したまちづくり	15%	13%
7. 安全・安心対策（災害時の支援ネットワーク、交通安全対策など）	17%	19%
8. 高齢者と若い世代の交流の場をつくる	9%	13%
9. その他	2%	2%

(2) 介護保険料についての意向

「保健医療福祉についてのアンケート調査」で「介護保険料についての意向」を比較すると、「保険料が高くなるなら、介護サービスは現状程度でかまわない」が顕著に上昇しています。昨今の物価高等の世相が表れていると推測されます。

	令和5年	令和2年
1. 保険料が高くなっても、施設やサービスなど十分あったほうがよい	34%	42%
2. 保険料が高くなるなら、介護サービスは現状程度でかまわない	30%	22%
3. サービスの質や量は低下してもいいから、保険料は安いほうがよい	4%	7%
4. わからない	26%	20%
5. その他	3%	4%
無回答	2%	5%